

平成 30 年度野尻湖から関川等へのコクチバス・オオクチバス逸出確認調査

長野県内水面漁場管理委員会 事務局

1 目的

逸出防止措置が施されている野尻湖から池尻川、農業用水路及び関川へオオクチバス、コクチバスが逸出していないか確認する。

2 調査日

- (1) 第 1 回目 平成 30 年 8 月 23 日 (木) 調査地点：A～E
 (2) 第 2 回目 平成 30 年 11 月 22 日 (木) 調査地点：A、D～H

3 調査地点 (図 1 参照)

地点	水系	水域の詳細	備考
A	池尻川	逸出防止装置施設 下流	
B	御小屋用水	同上	野尻土地改良区 所管
C	小丸山用水	同上	同上
D	池尻川	赤川合流点 上流	北信漁協 管内
E	池尻川	関川合流点 上流	北信漁協 管内
F	関川	池尻川合流点 付近	関川水系漁協管内
G	関川	国道 18 号の橋 付近	関川水系漁協管内
H	関川	池尻川発電所調整池からの 流出水合流点	関川水系漁協管内

4 調査方法

採捕には電気ショッカーを用いた。パルス、電圧は調査水域の状況によって適宜調整し、特に稚魚の採捕に留意して調査を行った。

5 調査機関

(1) 第 1 回目調査

調査地点 A から C の調査は北信漁業協同組合 1 名及び野尻湖漁業協同組合 1 名の立ち会い、調査地点 D 及び E の調査は北信漁業協同組合 1 名立ち合いのもと、長野県水産試験場 2 名及び長野県内水面漁場管理委員会事務局 (長野県農政部園芸畜産課水産係) 1 名で行った。

平成 28 年度の調査から新潟県側の調査地点 F、G 及び H については、関川水系漁業協同組合との協議の結果、原則的に秋季のみとすることになっている。

(2) 第 2 回目調査

例年 10 月に調査を行っているが、本年は日程調整がつかず、11 月に調査を行った。

調査地点Aの調査は北信漁業協同組合1名及び野尻湖漁業協同組合1名の立ち会い、調査地点D及びEの調査は北信漁業協同組合1名立ち合いのもと、長野県水産試験場2名及び長野県内水面漁場管理委員会事務局（長野県農政部園芸畜産課水産係）1名で行った。なお、御小屋用水及び小丸山用水は取水を行っておらず水がなかったため調査地点B及びCは調査しなかった。

調査地点FからHの調査は関川水系漁業協同組合4名（Fは2名）の立ち合いのもと新潟県農林水産部水産課1名、内水面水産試験場1名、長野県水産試験場2名及び長野県内水面漁場管理委員会事務局（長野県農政部園芸畜産課水産係）1名で行った。

6 採捕状況

A：池尻川（逸出防止装置施設 装置1と装置2の間 監視場所1）

魚種	第1回目（8月23日）		第2回目（11月22日）		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	1	3.0	—	—	

A：池尻川（逸出防止装置施設 装置2と装置3の間 監視場所2）

魚種	第1回目（8月23日）		第2回目（11月22日）		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
アブラハヤ	—	—	1	5.9	
ヨシノボリ	—	—	4	5.8～8.4	

A：池尻川（逸出防止装置施設 装置3下流 監視場所3）

魚種	第1回目（8月23日）		第2回目（11月22日）		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
コイ	10	5.1～9.7	2	7.0～8.4	
フナ	4	4.9～5.4	—	—	
モツゴ	4	5.3～6.8	2	5.7～6.4	
アブラハヤ	9	3.5～6.2	1	5.9	
ドジョウ	2	6.1～10.3	4	6.0～14.5	
シマドジョウ	5	3.4～6.1	3	5.8～8.4	
ヨシノボリ	3	2.6～5.5	23	2.3～5.5	
スナヤツメ	15	13.2～15.5	—	—	

B：御小屋用水（逸出防止装置施設 装置1と装置2の間 監視場所1）

魚種	第1回目（8月23日）		第2回目（11月22日）		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	3	2.0～2.1	水が無かったので調査せず		

B：御小屋用水（逸出防止装置施設 装置3下流 監視場所2）

魚種	第1回目（8月23日）		第2回目（11月22日）		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	2	3.5～3.5	水が無かったので調査せず		

B：御小屋用水（逸出防止装置施設 装置3下流 監視場所3）

魚種	第1回目（8月23日）		第2回目（11月22日）		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	2	2.5~2.8	水が無かったので調査せず		

C：小丸山用水（逸出防止装置施設 装置1と装置2の間 監視場所1）

魚種	第1回目（8月23日）		第2回目（11月22日）		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
			水が無かったので調査せず		1回目：エビのみ

C：小丸山用水（逸出防止装置施設 装置3下流 監視場所3）

魚種	第1回目（8月23日）		第2回目（11月22日）		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
			水が無かったので調査せず		1回目：エビのみ

D：池尻川（赤川合流点 上流）

魚種	第1回目（8月23日）		第2回目（11月22日）		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
コイ	5	7.1~9.4	—	—	
アブラハヤ	14	3.2~11.9	—	—	
ドジョウ	1	8.0	—	—	
シマドジョウ	1	8.3	—	—	
ヨシノボリ	2	2.5~3.1	16	2.0~4.4	

E：池尻川（関川合流点 上流）

魚種	第1回目（8月23日）		第2回目（11月22日）		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	6	1.8~5.7	2	15.2~19.0	
イワナ	—	—	2	14.9~15.5	
イワナ×ヤマメ	—	—	1	20.8	交雑個体と思われる（確認のため水試持ち帰り）

F：関川（池尻川合流点 付近）

魚種	11月22日		備考
	個体数	全長範囲 cm	
コクチバス	2	11.2~14.4	池尻川合流点側の分流で採捕
イワナ	24	11.8~20.2	

ヤマメ	3	15.8～18.9	
アブラハヤ	1	11.6	
ヨシノボリ	1	2.8	

G～H：関川（国道18号の橋～池尻川発電所調整池からの流出水合流点付近）

魚種	11月22日		備考
	個体数	全長範囲 cm	
イワナ	25	12.0～24.8	
ヤマメ	2	15.0～18.4	
アブラハヤ	1	9.5	

7 考察

11月22日の調査で関川の調査地点Fでコクチバスが確認された（写真）。今年度は漁場管理委員会による8月の調査、野尻湖尻湖漁協の調査において池尻川ではコクチバスの逸出は確認されておらず、今回採れたコクチバスの由来は不明である。

ただし、今年度はスクリーンを上げた事例が7月の豪雨に伴う放水、10月16日の東北電力による池尻川の護岸の補修工事のための排水の2回あり、その際に逸出した可能性は否定できない。

8 対応

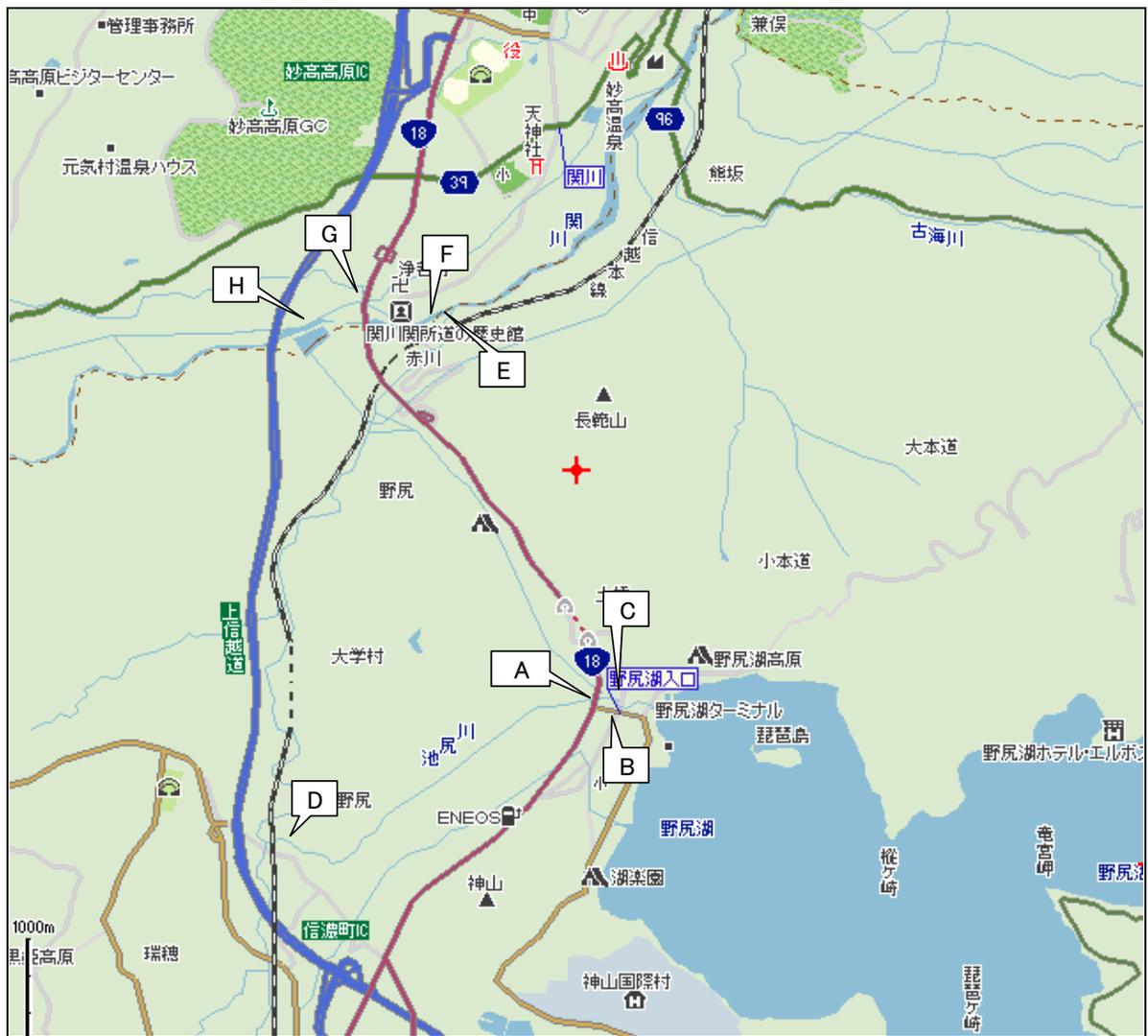
当調査は夏と秋の2回行っており、関川ではこれまでコクチバスが1度も採捕されなかったことから、昨年からの関川水系漁協との合意の上、年1回秋のみ調査することとしていたが、監視体制を強化するため来年度は関川においても夏と秋の年2回調査を行う。

野尻湖漁協においては引き続き、流出防止対策を適切に実施する。

また、野尻湖漁協では東北電力に対し、排水を伴う工事を行う場合はコクチバスの活動が少ない冬期に行う等の協力要請について役員会で検討することとしている。



写真 関川で採捕したコクチバス



【図1 調査地点地図】

